

TDBC主催 2025年10月10日開催セミナー

「荷主・物流企業による業種を越えた共同輸送相手を探す仕組みづくりとは
～ traevo noWaユーザーが語る新しい共創のカタチ ～」



TDBCワーキンググループ活動について

15:30 - 15:40

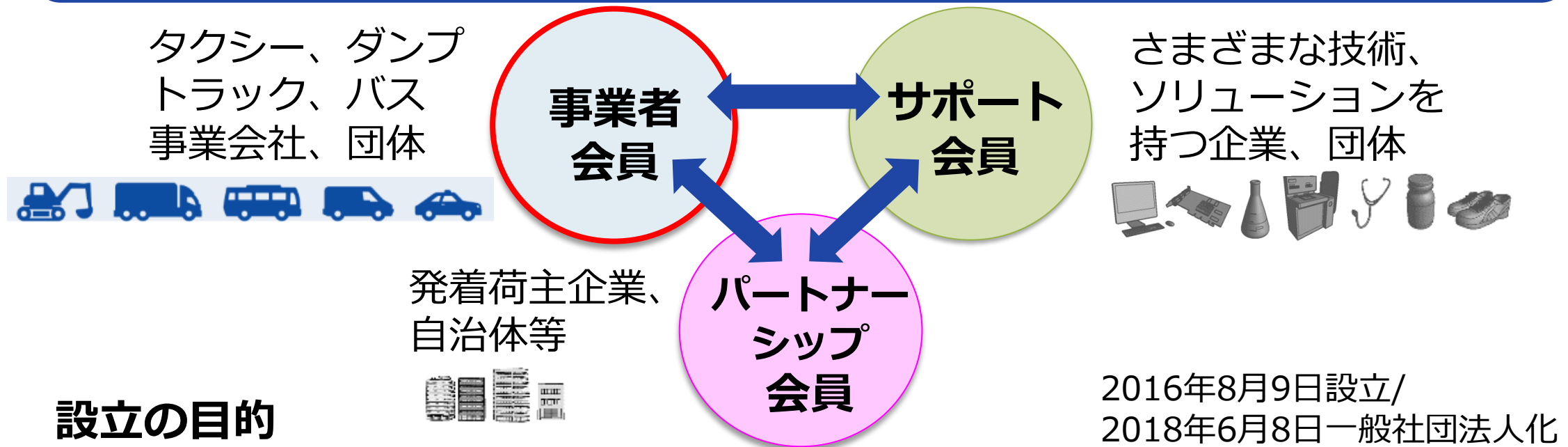
2025年10月10日

一般社団法人 運輸デジタルビジネス協議会
代表理事 小島 薫

設立の背景

運輸は産業や社会の基盤、中小企業が99%以上
さまざまな業界課題

① 1社では解決が難しい、② 同じ課題を各社で解決



設立の目的

運輸業界と、ICTなど多様な業種のサポート企業、およびパートナーシップ企業が連携し、デジタルテクノロジーを利用することで運輸業界を安心・安全・エコロジーな社会基盤に変革し、業界・社会に貢献する



会員一覧（2025年10月1日現在）

合計 203社



事業者会員 83社

【業界団体】

一般社団法人環境ロボティクス協会
一般社団法人千葉房総技能センター
一般社団法人東京都トラック協会
日個連東京都営業協同組合
公益社団法人佐賀県トラック協会
青果物流DX推進協議会

【その他団体】

一般社団法人フィジカルインターネットセンター
一般社団法人ウラノス・エコシステム推進センター
一般社団法人SCCC・リアルタイム経営推進協議会
一般社団法人サステナビリティ・DX推進協議会
一般社団法人サステナブルトランジション
一般社団法人災害対策支援者協会
一般社団法人災害対策トレーニングセンター支援会
特定非営利活動法人国際教育eスポーツ連盟ネットワーク日本本部
特定非営利活動法人 日本災害救助活動支援隊
KONAMI eスポーツ学院
至学館大学
国立大学法人筑波大学

【事業者】

株式会社Alpaca.Lab
アルピコ交通株式会社
株式会社アルプスウェイ
株式会社伊藤運送
茨城乳配株式会社
EP Rental株式会社
植村建設株式会社
梅田運輸倉庫株式会社
株式会社MICコーポレーション
遠州トラック株式会社
大河原運送株式会社
株式会社大林組
押入れ産業株式会社
関東交通株式会社
株式会社クロスコネクト
株式会社合通ロジ
サーラ物流株式会社
三興物流株式会社
サントリーロジスティクス株式会社
株式会社サンライズ物流

株式会社首都圏物流
株式会社新宮運送
株式会社SHINKOロジ
鈴与株式会社
鈴与カーゴネット株式会社
株式会社西三交通
株式会社セイリウライン
センヨシロジスティクス株式会社
総和運輸株式会社
ダイオーロジスティクス株式会社
谷口運送株式会社
千曲運輸株式会社
中国タクシー株式会社
中日臨海バス株式会社
中部興産株式会社
株式会社つばめ急便
東洋運輸株式会社
富山県トラック株式会社
トランコム株式会社
長良通運株式会社
奈良交通株式会社

ニコニコ観光株式会社
日本トラック株式会社
日本ロジテム株式会社
野原グループ株式会社
HAVIサプライチェーン・ソリューションズ・ジャパン合同会社
株式会社ハルテGC
阪神石油運送株式会社
P & J 株式会社
菱木運送株式会社
日立建機ロジテック株式会社
株式会社フジタクシーグループ
株式会社フジトランスライナー
富士陸送株式会社
ベイラインエクスプレス株式会社
松浦通運株式会社
丸磯建設株式会社
株式会社丸山運送
丸和運輸株式会社
株式会社丸和運輸機関
山崎製パン株式会社
両備ホールディングス株式会社両備バスカンパニー

ロジスティード株式会社
ロジスティード東日本株式会社
株式会社ワカスギ

パートナーシップ会員 9社

五十鈴株式会社
伊藤忠丸紅鉄鋼株式会社
AGC株式会社
サントリーホールディングス株式会社
大王製紙株式会社
株式会社ニッポン
株式会社パローホールディングス
本田技研工業株式会社
ヤンマーロジスティクス株式会社

サポート会員 111社

株式会社ITワークスジャパン
アクティア株式会社
株式会社ACCES
株式会社アスア
アスコネックス株式会社
アセンド株式会社
株式会社アートフレンドAUTO
ARAV株式会社
アルファス株式会社
アルプスアルパイン株式会社
株式会社eek
イーサポートリンク株式会社
株式会社イー・ジスワン
いすゞ自動車株式会社
伊藤忠商事株式会社
伊藤忠テクノソリューションズ株式会社
eMotion Fleet株式会社
医療法人社団勝榮会 いりたに内科クリニック
株式会社ヴァル研究所
宇宙サービスイノベーションラボ事業協同組合
X Detect株式会社

株式会社SL Creations
SCSK株式会社
S Gシステム株式会社
NECソリューションイノベータ株式会社
NSW株式会社
株式会社NPシステム開発
オープンコムジャパン株式会社
株式会社OTO
株式会社オブティマインド
オリックス自動車株式会社
一般財団法人環境優良車普及機構
株式会社キャブステーション
京セラ株式会社
クラリオンライフサイクルソリューションズ株式会社
株式会社クレオ
グローアップ社会保険労務士法人
グローバルレッジ株式会社
株式会社グローバルワイズ
株式会社ケイティ・ジャパン
光英システム株式会社
株式会社サトー
株式会社シーズ・ラボ
株式会社GCAP
株式会社ZEAL

JFE商事エレクトロニクス株式会社
株式会社システック
株式会社システム計画研究所
株式会社システムズ
株式会社システムライフ
株式会社シマント
ジャパン・トゥエンティワン株式会社
株式会社商工組合中央金庫
株式会社スマートドライブ
株式会社スマートバリュー
センターフィールド株式会社
ソニー株式会社
ソフトバンク株式会社
株式会社タイガー
行政書士事務所TAKO・GIVER
田中電気株式会社
都築電気株式会社
TM特許事務所
株式会社ディ・クリエイト
株式会社データ・テック
株式会社テレコム
株式会社デンソー
株式会社デンソーソリューション
東京海上スマートモビリティ株式会社

株式会社東計電算
株式会社トランスロン
株式会社ナブアシスト
日本鋭明技術株式会社
日本電気株式会社
日本ミシュラタイヤ株式会社
株式会社ネミエル
パーソナル情報システム株式会社
バイオニア株式会社
ハコベル株式会社
株式会社パスコ
株式会社パトライト
日立建機株式会社
BIPROGY株式会社
フィン・バイ・テック コンサルティング
富士通株式会社
物流企画サポート株式会社
麗技研株式会社
芙蓉総合リース株式会社
株式会社プリデストン
古野電気株式会社
株式会社フルバック
株式会社ブロードリーフ
株式会社ベル・インフォ・テック

株式会社マーキュリアインベストメント
丸鋭情報通信株式会社
三井住友海上火災保険株式会社
モバイルクリエイティブ株式会社
矢崎エナジーシステム株式会社
矢崎総業株式会社
ユーピーアール株式会社
ユニオンツール株式会社
株式会社ユニ・トランド
株式会社ユーフォリア
株式会社ライナロジクス
リアライズ・イノベーションズ株式会社
株式会社LOKIAR
株式会社Logpose Technologies
LocationMind株式会社
株式会社ロジクリエイティブ
ウイングアーク1st株式会社
株式会社traevo



テーマ毎のWG活動（2025年度）

<https://tdbc.or.jp/worki ng-group/>



WG01 「事故ゼロ実現に向けた称賛と指導による安全文化の醸成」

WG02 「健康経営の推進と健康課題解決（仮）」

WG03 「新たな人材確保と教育、働き方（外国人ドライバー）（仮）」

WG04 「荷主とのパートナーシップによる2024年問題の解決と、働く環境の改善」

WG05 「動態管理プラットフォーム（traevo Platform）を活用した持続可能な物流の実現」

＜WG05A＞ 共同輸送データベース構築とその先のフィジカルインターネットの推進

＜WG05B＞ CO2排出量の精緻化を通じた物流改善とその先にあるカーボンニュートラルの実現

＜WG05C＞ 生鮮物流の課題解決に向けた取り組み

WG06 「業界共通プラットフォームへのデータ連携によるその先へ（仮）」

WG07 「超遠隔操作による無人化施工普及と一般土木工事への活用に向けた連携」

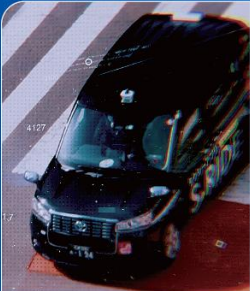
WG08 「無人AI点呼実現への挑戦」

WG09 「持続可能な運輸事業者への転換（SDGsの推進）」



TDBC Forum 2025 2025年7月11日開催







運輸デジタルビジネス協議会
～持続可能な運輸業界を目指し、あらたな未来へ～

TDBC Forum 2025

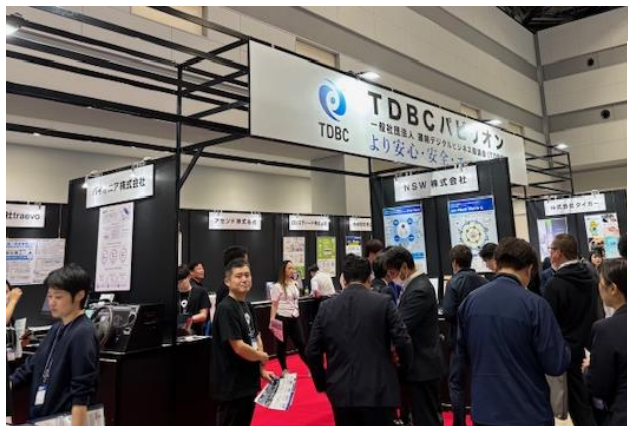
新物流2法への対応と
新たな運輸業界の未来に向かって

2025.7.11 13:00~17:00
オンライン開催(参加無料:事前登録制)

このご案内は、公開されている社名、代表者様宛てに送付させていただきます

OPEN

運輸安全・物流DX EXPO 2025と連携



「TDBCパビリオン」展示

<https://tdbc.or.jp/forums/2025/>

フォーラム開催スポンサー

ゴールドスポンサー



シルバースポンサー



プログラム(予定)

※プログラム内容が変更になる可能性があります。予めご了承ください。

基調講演 経済産業省 商務・サービスグループ 消費・流通政策課 物流企画室 室長補佐(フィジカルインターネット担当) 佐藤 瞭 氏

特別講演 国土交通省 物流・自動車局 貨物流通事業課 佐々木 優香 氏
経済産業省 北海道経済産業局 産業部 産業振興課 課長補佐 小島 健 氏
名古屋大学大学院 環境学研究科 教授 加藤 博和 氏
株式会社ローランド・ベルガー パートナー 小野塚 征志 氏

ワーキンググループ 成果報告

- WG01 「事故撲滅と実現のための管理者、乗務員教育」 ロジスティード(株)、ジャパン・トゥエンティワン(株)、矢崎総業(株)
- WG02 「健康経営の推進と健康課題解決」 中田臨海バス(株)
- WG04 「人材、働き方改革、荷主とのパートナーシップによる2024年問題の対応」 菱木運送(株)
- WG05 「動態管理プラットフォーム (traevo) を活用した持続可能な物流の実現」 (株)首都圏物流
- WG05A 「共同輸送データベース構築とその先のフィジカルインターネットの推進」 AGC(株)
- WG05B 「CO2排出量の精緻化を通じた物流改善とその先にあるカーボンニュートラルの実現」 (株)アスア
- WG06 「業界共通プラットフォームへのデータ連携によるその先へ」 (株)新宮運送
- WG07 「遠隔操作・自動化で実現する安全・安心な作業現場と迅速な災害対応」 伊藤忠商事(株)
- WG08 「無人AI点呼実現への挑戦」 大河原運送(株)
- WG09 「SDGsの推進と、カーボンニュートラル・エコドライブの実現」 (株)セイリョウライン

セッション 株式会社ハルテGC / 一般社団法人サステナビリティ・DX推進協議会
イーサポートリンク株式会社
トヨタモビリティパーツ株式会社 / 株式会社アスア
株式会社フジタクシーグループ
菱木運送株式会社

セッション 株式会社ハルテGC / 一般社団法人サステナビリティ・DX推進協議会
イーサポートリンク株式会社
トヨタモビリティパーツ株式会社 / 株式会社アスア
株式会社フジタクシーグループ
菱木運送株式会社

セッション 株式会社ハルテGC / 一般社団法人サステナビリティ・DX推進協議会
イーサポートリンク株式会社
トヨタモビリティパーツ株式会社 / 株式会社アスア
株式会社フジタクシーグループ
菱木運送株式会社





スポンサー各社のソリューション紹介



お問い合わせ先 一般社団法人 運輸デジタルビジネス協議会事務局
〒106-0032 東京都港区六本木3-2-1 ウイングアーク1st株式会社内 TEL: 03-5962-7370 E-mail: unyuu.co@wingarc.com
※本ご案内の発送とTDBCフォーラムへのお申込受付は事務局としてウイングアーク1stが実施しています。

WG05 動態管理PF～2024年問題解決への貢献



2023年8月

「持続可能な物流の実現に向けた
検討会 最終取りまとめ」

2025年3月

第四条 運転者の荷役等時間の短縮

①パレット等の荷役の効率化に資する輸送器具を導入すること、一貫バレイゼーション実現のために標準仕様パレット等を使用すること、荷役等を省力化するための貨物の荷造りを行うこと、フォークリフト又は荷役等を行う人員を適切に配置すること等により、荷役等の効率化を図ること

事例10（荷役等を行う人員の適切な配置）

イオン北海道

- 荷受け専門の要員が確保出来ない小売店舗においては、店員が店内オペレーションに忙殺されてしまうため、車両の到着に合わせた適切なタイミングで荷受け作業を開始することが難しいことが多く、待機時間、荷役等時間（店舗での滞留時間）を短縮することが課題となっている。
- そこで、トラック近接を音声と光で店員に報知する装置を導入し、着荷時刻が店舗に事前通知されることにより、店員がトラックの到着前に荷受準備をすることが可能となり、一部店舗への実証導入を通じて平均15%の荷役等時間の短縮を実現。
- 加えて、荷受けの際に店舗従業員が前もって搬入口に出て、近隣住民、顧客への安全配慮を行うことが可能となった。



物流プラットフォームによる物流可視化の例 traevo（株式会社）

- 多様な事業者が関わる中で、物流に関する状況確認や情報伝達には現在アナログな手順に頼っている。物流の可視化にはトラック情報の活用が有効であるが、メーカーの異なる車載機は容易ではない状況。
- こうした中、株式会社traevoでは、メーカーの異なる車載機器から車両情報を収集し、タイポ位置情報、作業ステータス、庫内温度等のデータを対象として、複数の車載機器のデータ配信サービスを提供。2022年4月から無料トライアルを開始し、2023年1月に正式にサービスを開始。
- 例えば、荷主企業（大手メーカー）から運送を委託している物流事業者に対して「自社貨物の動態情報をご提供ください」という依頼をし、数千台／日稼働する車両とドライバーの労働環境の改善とサプライチェーンの効率化につなげる取組が行われている。



図11 物流プラットフォームによる物流可視化の例（株式会社 traevo）

https://www.meti.go.jp/shingikai/mono_info_service/sustainable_logistics/pdf/20230831_1.pdf

2022年1月



協力運送会社
運行状況を
すべて把握！



2020年7月

経済産業省「
ものづくり・商
産性向上促進
モデル構築
」にて採択

2020年6月

動態管理プラットフォームによる

「各社サービスを統合する動態管理プラットフォーム」

荷主・運輸事業者・届け先

自社のみならず関連企業各社車両の
位置情報を一元的に可視化する仕組み



物流効率化法

荷主の判断基準 解説書事例集

https://www.meti.go.jp/policy/economy/distribution/250327_ninushijirei_ver.1.0.pdf

https://portal.monodukuri-hojo.jp/common/bunsho/biz/1st/saitaku_jij_viz.pdf

https://tdbc.or.jp/docs/forums/2020/Forum2020_wg05A-2.pdf

TDBCのビジョン

運輸業界を安心・安全・エコロジーな
社会基盤に変革し、業界・社会に貢献する



課題解決、ビジネスの変革
新しいビジネスの創出

【手段・方法】

- ・ 課題と解決策のマッチング
- ・ 成果と会員増
- ・ ワーキンググループ活動
- ・ 個別紹介、個別支援

事業者の課題
解決

業界を
変える

安心・安全・エコロジー、健康、
SDGs、デジタル化、働き方改革

【手段・方法】

- ・ 活動成果と会員数
- ・ 共通プラットフォームの提供
- ・ 業界、協会との連携
- ・ 業界への認知向上



社会の理解、考え方、ルール
持続可能な公共交通、物流の実現

【手段・方法】

- ・ 社会認知の向上
- ・ 積極的な活動と告知
- ・ 成果の実践、社会的影響力
- ・ MaaSや貨客混載、シェア

社会を
変える

国を
変える

法制、施策
補助金、助成金

【手段・方法】

- ・ 関係強化、自治体連携
- ・ 活動実績と影響力
- ・ 認知度を上げる
- ・ 補助金の活用、事業の受託

ともに解決



物流の2024年問題の解決に向けた法整備

トラックドライバーの適正な時間と賃金等の実現による労働環境の改善
(効率化・最適化・適正化と契約に基づいた適正な運賃の収受)

CO2排出量
把握と削減

積載効率 把握・向上
(積載率×実車率)

荷待ち時間
把握・短縮

荷役等時間
把握・短縮

運送契約締結と
適正な運賃・料金

トラック新法（貨物自動車運送事業法の一部を改正する法律、貨物自動車運送事業の適正化のための体制の整備等の推進に関する法律）（2025年6月11日公布）

下請法（下請代金支払遅延等防止法）改正～中小受託取引適正化法（取適法）
(2025年5月23日公布、2026年1月1日施行予定)

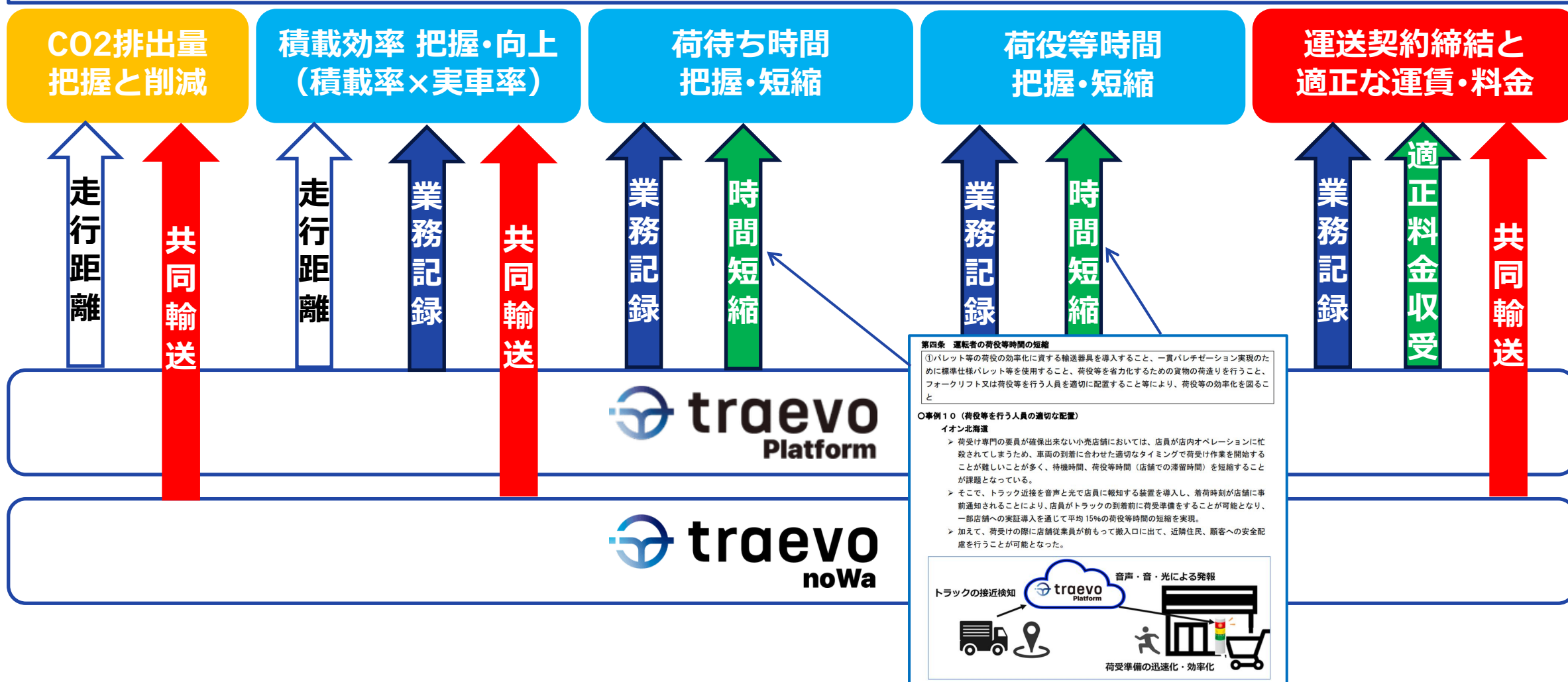
「流通業務の総合化及び効率化の促進に関する法律及び貨物自動車運送事業法の一部を改正する法律案」（2024年5月15日公布）

我が国の物流の革新に関する関係閣僚会議
物流革新に向けた政策パッケージ（2023年6月2日）/物流革新緊急パッケージ（10月6日）

物流の2024年問題 2014年度には14%、2030年度には34%の輸送力が不足
(働き方改革関連法、改善基準告示)

物流の2024年問題と解決に向けた仕組み

トラックドライバーの適正な時間と賃金等の実現による労働環境の改善
(効率化・最適化・適正化と契約に基づいた適正な運賃の収受)



物流効率化法 解説書事例集

第四条 運転者の荷役等時間の短縮

①パレット等の荷役の効率化に資する輸送器具を導入すること、一貫パレチゼーション実現のために標準仕様パレット等を使用すること、荷役等を省力化するための貨物の荷造りを行うこと、フォークリフト又は荷役等を行う人員を適切に配置すること等により、荷役等の効率化を図ること

○事例10（荷役等を行う人員の適切な配置）

イオン北海道

- 荷受け専門の要員が確保出来ない小売店舗においては、店員が店内オペレーションに忙殺されてしまうため、車両の到着に合わせた適切なタイミングで荷受け作業を開始することが難しいことが多く、待機時間、荷役等時間（店舗での滞留時間）を短縮することが課題となっている。
- そこで、トラック近接を音声と光で店員に報知する装置を導入し、着荷時刻が店舗に事前通知されることにより、店員がトラックの到着前に荷受準備をすることが可能となり、一部店舗への実証導入を通じて平均 15%の荷役等時間の短縮を実現。
- 加えて、荷受けの際に店舗従業員が前もって搬入口に出て、近隣住民、顧客への安全配慮を行うことが可能となった。



経済産業省「判断基準事例集（ver.1.0）」
https://www.meti.go.jp/policy/economy/distribution/250327_ninushijirei_ver.1.0.pdf
事例10 traevo platform（TDBC/traevo）

受賞事例の概要

ロジスティクス大賞

受賞法人 一般社団法人運輸デジタルビジネス協議会、株式会社traevo

受賞事例 共同輸送データベースの普及によるフィジカルインターネットの実現に向けて

受賞事由

共同輸送の促進を目的に構築された共同輸送データベース「traevo」は、物流情報の可視化・共有を通じて、業種や業態を超えた実践的な水平連携の道を切り開いた点が高く評価される。特に、複数企業による輸送空間の共同活用や帰り便の確保、発着地や荷種等の条件に応じたマッチング機能の実装により、物流における非競争領域の協調を現実のものとした先駆的な取組である。これらの成果は、フィジカルインターネットの社会実装に向けた基盤整備とも位置づけられ、将来的には国際物流やカーボンニュートラルといった社会課題の解決にも貢献する可能性を有する。物流分野における革新的な共創モデルの提示として、他産業への波及も期待されることから、本取組はロジスティクス大賞に相応しいものと評価された。

受賞法人HPリンク [一般社団法人運輸デジタルビジネス協議会](#)、[株式会社traevo](#)



<https://www1.logistics.or.jp/news/news-9654/>



TDBC HPと入会のご案内

<https://tdbc.or.jp/>



[活動アーカイブ](#) [ワーキンググループ](#) [フォーラム](#) [ソリューション](#)



走り出そう 新し



TDBCから生まれたtraevo
協力運送会社の車両動態まで分かる物流DXプラットフォーム



一般社団法人 運輸デジタルビジネス協議会 (TDBC)

より安心・安全・エコな社会を。

TDBCは運輸業界とICTなど多様な業種のサポート企業が連携し、デジタルテクノロジーを利用することで運輸業界を安心・安全・エコロジーな社会基盤に変革し、業界・社会に貢献するため活動しています。

MEMBERSHIP APPLICATION FORM

TDBCへの入会のご案内

会員の種別

- **運輸事業者会員**
運輸事業者および車両と事業で使用している建設事業者、運輸部門をもつ其他事業者等
- **業界・その他団体**
運輸関連業界団体および、その他の団体等
- **サポート会員**
運輸事業者を支援するソリューション、技術をもった企業等
- **パートナーシップ会員**
大手荷主企業、公共交通に担い手である自治体、地元団体等

会費

入会金は不要です。年会費は、企業規模により異なります。

- 従業員100名未満:5万円/年
- 従業員100名以上:10万円/年

協議会参加ポリシー

運輸業界（建設業界を含む）の課題解決に参加、協力し、課題解決の実現を通じて業界、社会に貢献する。運輸事業者は、自社独自の課題ではなく自社を含む業界の課題に取り組み、その成果の業界への展開についても積極的に協力する。サポート会員は、事業者の課題に対して積極的に提案し、その課題解決の実現と、「低コストで良いソリューション＝業界共通プラットフォーム」として業界への展開についても積極的に取り組む。

入会お申し込みフォーム

団体社情報

会社名

郵便番号 (例:1060032)

都道府県を選択

市区町村番地 (例:港区1-11-11)

ウェブサイトURL ※任意

従業員数 ※任意

ご担当者さま情報

姓 (例:運輸)

名 (例:太郎)

ご所属 ※任意

お役職 ※任意

TDBCについて

TDBCへの入会のご案内



一般社団法人 運輸デジタルビジネス協議会

<https://tdbc.or.jp/>

E-mail unyu.co@wingarc.com

TEL 03-5962-7370

協議会スポンサー



商工中金

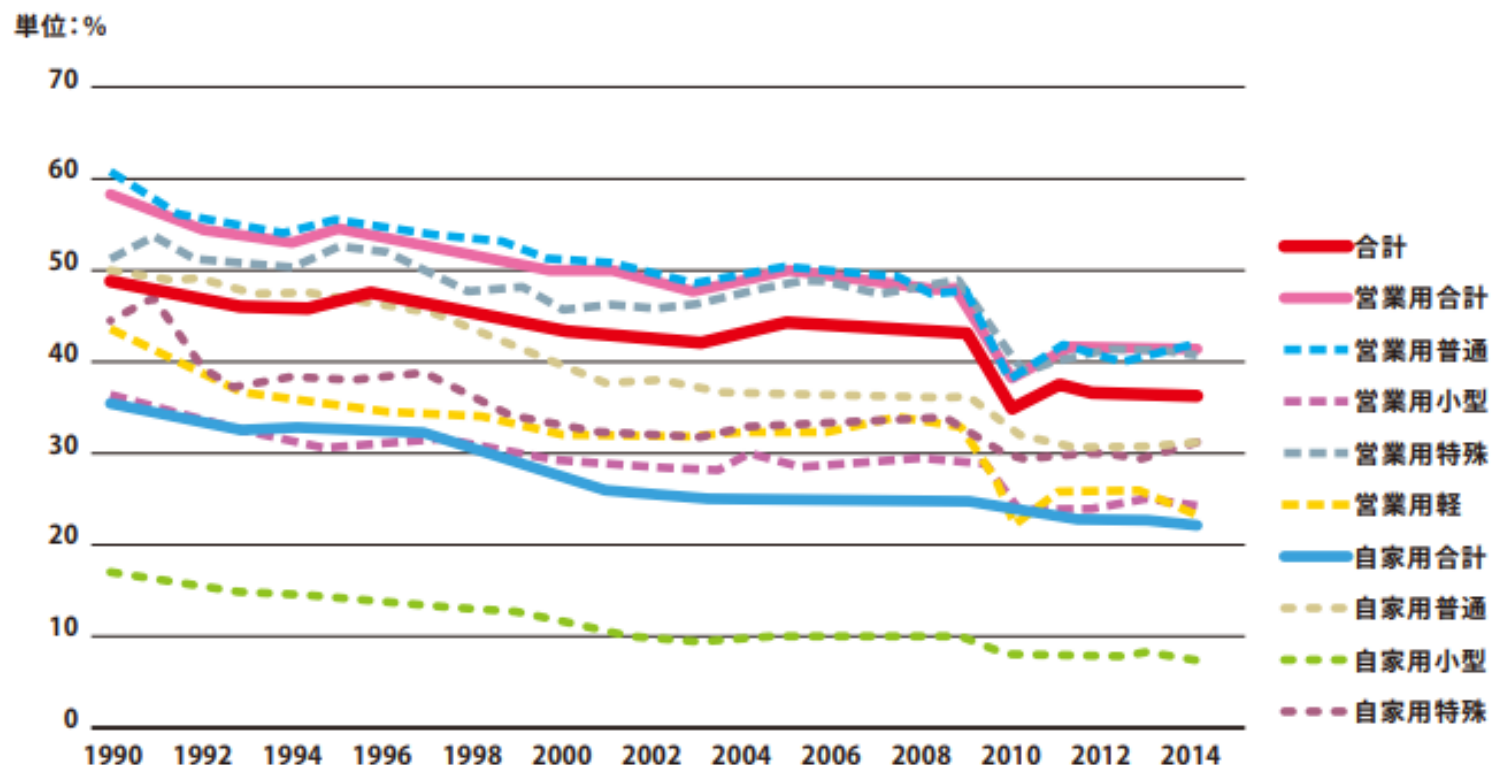


SoftBank

WingArc 1ST



図3 トラック単位の輸送トンキロあたりの積載率の推移



注) 2010年度に調査方法が変更されたため前後でデータの継続性が絶たれている。
出所) 国土交通省「自動車輸送統計調査年報」より作成

出典：国土交通省
「トラック運送における生産性向上方策に関する手引き」

<https://www.mlit.go.jp/common/001189107.pdf>

Figure 1 is a block diagram illustrating the system architecture. At the top, a navigation system (1) is shown, which includes a server-side reception unit (31), a server-side storage unit (32), a server-side transmission unit (34), and a server-side processing unit (33). The navigation system (1) is connected to a vehicle system (21) via a network (5). The vehicle system (21) includes a GPS reception unit (21), a digital tag unit (22), a status input unit (23), a vehicle-side processing unit (12), and a vehicle-side transmission unit (11). The network (5) connects the server system (1) to the vehicle system (21). The vehicle system (21) also includes a vehicle-side reception unit (21) and a vehicle-side storage unit (22).

<https://www.j-platpat.inpit.go.jp/c1801/PU/JP-2023-017254/11/ja>

3年ぶりJILSロジ大賞、荷主主導で描く物流新時代

ロジスティクス 物流業界が直面する「2024年問題」の解決策として今、革新的な共同輸送マッチングシステムが注目を集めている。運輸デジタルビジネス協議会（TDBC、東京都港区）とtraevo（トラエボ、同）が開発した「traevo noWa（ノワ）」だ。このサービスは荷主や物流事業者向けの共同輸送相手探索サービスとして8月1日にサービスイン。23年、24年度を「該当者なし」とした、厳格な審査で知られる日本ロジスティクスシステム協会（JILS）の25年度ロジスティクス大賞を見事受賞した。

この栄えある賞は、ロジスティクスの発展に向けて優れた実績を持つと認められる団体にのみ贈られる最高峰の表彰だ。この栄誉の陰には、一人の男の静かな情熱があった。その人物はTDBCのワーキンググループリーダーを務めるAGCの田中真史氏（調達・ロジスティクス部）。業界の常識を打ち破る氏の取り組みが、この歴史的な受賞を決定づけた原動力だった。この快挙は決して偶然ではなかった。



▲AGC 調達・ロジスティクス部 技術統括室 ロジスティクス技術チームリーダーの田中真史氏

ユーザー目線で設計されたシンプルなシステム

traevo noWaの特徴を一言で言い表すなら、そのシンプルさだ。入力データは出発地と到着地の市区町村、車種（平ボディやウイング車など）、車格（何トン車か）のみ。荷姿や時間情報は含めない。田中氏によれば、「荷姿を含めると、営業機密に関わる可能性がある。非特定性を重視して情報を丸めた形にした」と説明する。

「これは中長期的に共同輸送を検討する相手を探すための入り口だ。単純にどこからどこへ何の車で運んでいるかという情報だけでも、データとしてまとめれば十分価値があると考えた」（田中氏）

このシンプルな設計にはさらなる理由がある。traevoの鈴木久夫社長がこう付け加える。「参加障壁をできるだけ低くしたかった。入力するデータの種類が少なければ少ないほど煩わしさが減り、参加率が高まる。それによってユーザー数のボリュームをとにかく増やすのが狙いだった」



▲traevoの鈴木久夫社長

出典：

Logistics Today 2025年9月19日
3年ぶりJILSロジ大賞、荷主主導で描く物流新時代

<https://www.logi-today.com/845013>